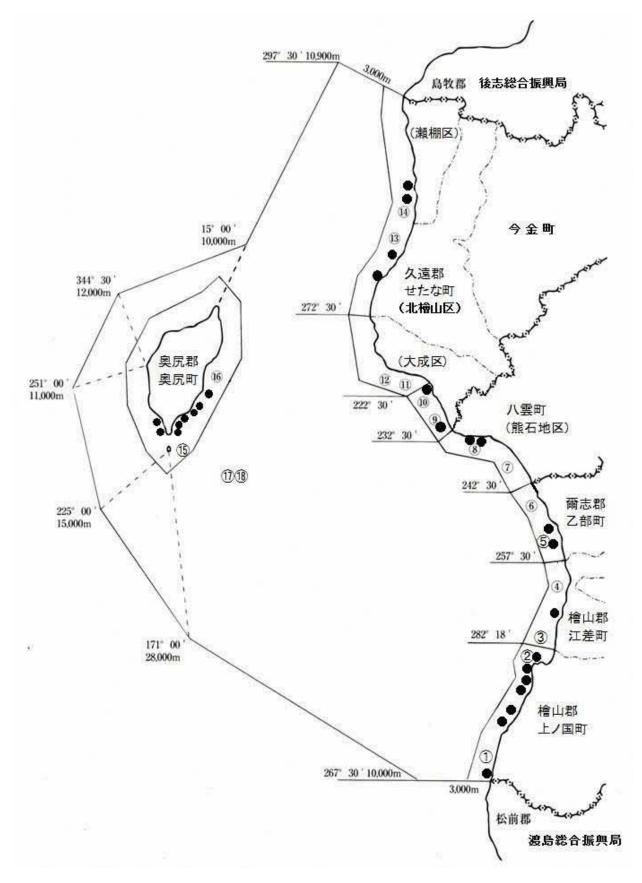
海面共同漁業権及び海面区画漁業権位置図((1)イ及びウ関係)



※ 図中の①から⑱は、海面共同漁業権番号を、●は海面区画漁業権の位置を示す。

10 北海道海面漁業調整規則等による規制状況及びさけ・ますふ化事業

海面及び内水面における水産資源の保護培養を図るため、管内11河川においては、 北海道海面漁業調整規則に基づき、河口付近におけるさけ・ます採捕の禁止期間を 設定しているほか、北海道知事により指定された8河川(保護水面区域)において は、北海道内水面漁業調整規則に基づき、水産動植物の採捕を禁止しています

なお、檜山管内では、魚道設置(12 ページ)や、さけ・ますふ化場施設等設置の上、さけ・ますふ化放流事業(16~17 ページ)に取り組み、さけ・ます資源の保護・維持増大に努めているところです。

北海道海面漁業調整規則等による規制状況及びさけ・ますふ化事業

		さけ・ます採捕	保護水面	事業河	川(注3)	
町 名	河川名	河口規制	区域指定	さけ	さくらます	備考
		(注1)	(注2)	捕獲 放流	捕獲 放流	
	須 築 川	4/1 ~ 8/31	0			
	嗣内川					
	馬場川					檜内共第1号
	後志利別川	4/1 ~ 11/30	0	0 0		檜内共第2号
せたな町	太 櫓 川	4/1 ~ 8/31	0			檜内共第3号
	宮 野 小 川			0		
	良 瑠 石 川					
	臼 別 川	4/1 ~ 8/31	0			
	貝 取 澗 川			0		
八雲町	見 市 川	4/1 ~ 8/31	0		0 0	
熊 石	冷 水 川					
(注4)	相 沼 内 川	4/1 ~ 11/30		0 0		
→ ±17 PF	突 符 川	4/1 ~ 8/31	0	0		
乙部町	姫 川	4/1 ~ 8/31	0	0		
江 差 町	厚沢部川	8/20 ~ 11/30		0 0		
	天 野 川	8/20 ~ 11/30		0 0	0	
上ノ国町	石 崎 川	4/1 ~ 8/31	0			
奥尻町	青 苗 川					_

注1:北海道海面漁業調整規則第42条に基づく、「河口付近におけるさけ・ます採捕の禁止期間」を示す。 注2:北海道内水面漁業調整規則第47条第2項に基づき、北海道知事により指定をうけた「保護水面区域」 に〇を付記する。

注3:さけ・ますの採捕・放流を実施している河川に〇を付記する。

注4:八雲町熊石は、北海道が定める「さけ・ます人工ふ化放流計画」上、檜山に区分されるため、併記 する。

魚道設置状況

町名	河 川 名	河川 種類	設置構造物	年度	備考	町名	河 川 名	河川種類	設置構造物	年度	備考
	島歌川	普通	治山ダム	56					治山ダム	58	
せたな町 瀬棚区	馬場川	2級	上水道ダム	57			見市川水系二股川	2級	第1治山ダム	59	
柳如加	馬场川	∠和X	砂防ダム	58			兄巾川小术—版川	∠ 7 9X	第2治山ダム	59	
			第1頭首工	57		八雲町			第3治山ダム	59	
今金町	後志利別川水系下ハカイマップ川	1級	第2頭首工	57		熊石			治山ダム	2	
			落差工	57			冷水川	普通	治山ダム	4	
	太櫓川	2級	若松頭首工	56			וואלווי	日地	治山ダム	5	
	本省 加	Z 19X	石仏坂日工	30					治山ダム	6	
	太櫓川(左股地区)	普诵	濁川頭首工	58					頭首工	49	
11.4 +×m+	太僧川(在放地區)	日四	頭首工	3			突符川	準用	治山ダム	51	
せたな町 北檜山区	太櫓川水系二俣川	2級	二俣頭首工	58					治山ダム	52	
ADIE PARE	太櫓川水系小川支流ガロー川	2級	治山ダム	56		乙部町	突符川水系来拝川	準用	頭首工	49	H10改
	後志利別川水系ポン目名川	1級	頭首工	59					第2頭首工	54	
	後志利別川水系真駒内川	1級	鍋坂頭首工	60			姫川	2級	大橋頭首工	54	
	该心利剂川 小尔莫制内川	I NX	徳島頭首工	60					姫川頭首工	55	
			砂防ダム	54			石崎川水系左股川	普通	砂防ダム	50	
II de des mar	白別川	普通	治山ダム	61			石崎川(右股川)	普通	砂防ダム	55	
せたな町 大成区	ומייים	日四	3号治山ダム	62			石崎川水系赤井川	普通	1号治水ダム	63	
八灰匠			4号治山ダム	62		上ノ国町	11 响川小木小开川	日坦	2号治水ダム	63	
	砥歌川	普通	砂防堰提	61		上/国門	天野川	2級	天野川頭首工	54	H10改
八雲町			第1頭首工	55	H7増工		天野川水系上ノ沢川	2級	砂防ダム	58	
熊石	相沼内川	2級	第2頭首工	55	H8増工		ヘキバハホエノバ川	∠积X	治山ダム	60	
(※)			砂防ダム	56			天野川水系中ノ沢川	普通	治山ダム	60	
	·		管内	魚道	設置数合	計 45構造物		•			

[※] 八雲町熊石は、北海道が定める「さけ・ます人工ふ化放流計画」上、檜山に区分されるため、併記する。

さけ・ますふ化場施設等一覧

							取水量		施設規模		飼育	池
所在地	水系名	施設名	施設所有者	管理主体	設立年	用水種別	(北/分)	ふ化池	養魚池	飼育池	収容能力	実質飼育
	後志利別川	日本海さけ・ます増殖事業協会 瀬棚さけますふ化場	北海道さけ・ます 増殖事業協会	ひやま漁協	S58	湧•河•井	13,500	48,000 千粒	浮上槽 2槽×72基	1,399.5 m²	13,995 千尾	17,989 千尾
せたな町 瀬棚区	嗣内川	日本海さけ・ます増殖事業協会 嗣内川二次飼育池	瀬棚地区定置部 会	ひやま漁協	H18	河	1,500			100 m²	1,000千尾	0千尾
	馬場川	日本海さけ・ます増殖事業協会 馬場川二次飼育池	ひやま漁協	ひやま漁協	H16	河	3,000			200 m²	2,000千尾	0千尾
せたな町 北檜山区	良瑠石川	日本海さけ・ます増殖事業協会 良瑠石川二次飼育池	ひやま漁協	ひやま漁協	H12	河	3,000			200 m²	2,000千尾	950千尾
せたな町	小川	日本海さけ、ます増殖事業協会 宮野小川二次飼育池	ひやま漁協	ひやま漁協	H18	河	3,000			300 m²	3,000千尾	1502千尾
大成区	貝取澗川	日本海さけ、ます増殖事業協会 貝取澗二次飼育池	日本海さけ・ます 増殖事業協会	ひやま漁協	H21	河	2,500			200 m²	2,000千尾	1500千尾
	見市川	さけます・内水面水産試験場 道南支場	北海道立総合研 究機構	北海道立総合研 究機構	S58	地•河	12,000	20,000 千粒	693.0 m²	480.0 m²	1.3gサケ3,600千尾、 lgサクラマス1,200千尾 30gサクラマス300千尾	30gサクラマス 188千尾
八雲町熊石	相沼内川	日本海さけ・ます増殖事業協会 相沼さけますふ化場(第1)	ひやま漁協	ひやま漁協	S52	湧	1,000		132.0 m²	132.5 m²	1,000 千尾	1,016 千尾
	18/B/1//II	日本海さけ・ます増殖事業協会 相沼さけますふ化場(第2)	北海道さけ・ます 増殖事業協会	ひやま漁協	S55	湧	1,000		66.0 m²	132.5 m²	1,000 千尾	2,102 千尾
7.部町	突符川	ひやま漁協乙部さけ・ます飼育 センター(※)	ひやま漁協	ひやま漁協	S49	地	5,800	1,500 干粒	浮上槽 2槽×5基	500.0 m²	5,000 千尾	4,295 干尾
	姫川	日本海さけ・ます増殖事業協会 姫川二次飼育池	ひやま漁協	ひやま漁協	H20	河	3,000			200 m²	2,000千尾	0 千尾
厚沢部町	厚沢部川	日本海さけ・ます増殖事業協会 南檜山さけますふ化場	北海道さけ・ます 増殖事業協会	ひやま漁協	S62	地•河	6,800		364.8 m²	777.6 m²	7,776 千尾	5,437 千尾
1 (500	天野川	日本海さけ・ます増殖事業協会 上ノ国さけますふ化場	北海道さけ・ます 増殖事業協会	ひやま漁協	S57	地•河	14,000		787.0 m²	1,050.0 m²	10,500 千尾	13,841 千尾
上ノ国町	石崎川	日本海さけ・ます増殖事業協会 石崎二次飼育池	日本海さけます 増殖事業協会	ひやま漁協	H22	河	5,000			450 m²	4,500千尾	0千尾

[※] 平成 29 年 2 月に「乙部町サクラマス種苗センター」から「ひやま漁協乙部さけ・ますセンター」に名称変更した。

第2 水産業・漁村の振興に関する施策

1 日本海漁業振興対策

道では、平成26年12月に日本海漁業振興基本方針に基づいて、「後志・檜山地区」 を振興のモデルに短期間で所得向上が期待できる「養殖業」を柱とした速効性のあ る確実な対策を進め、日本海地域の漁業振興を図ることとしています。

平成30年3月には当該基本方針を改定し、成果が得られた取組を一層推進するなど、日本海漁業の再生と発展を目指しています。

この間、当管内においても基本方針に基づき、漁業振興を図るため、道の「日本海漁業振興緊急対策事業(平成27年度~平成29年度)」、「日本海漁業振興対策事業(平成30年度~)」などを活用し、漁港内静穏域を活用したウニ養殖や、養殖業と漁船漁業を組み合わせた操業形態の導入など、新たな生産体制づくりに向けた取組支援等を行っています。

また、平成27年7月に設置された「檜山地域漁業振興対策室」においては、関係各課等が連携協同して管内漁業の振興に総合的に取り組んでおり、「新たな増養殖の取組による資源づくり」、「付加価値向上対策」、「未利用資源や漁場の有効活用」などを柱に、新規漁業者の参入や漁業の安定・継続を目指していくこととしています。

さらに、スケトウダラの TAC (漁獲可能量) 削減に応じた方策として、平成 28 年度から国の「もうかる漁業創設支援事業」において、スケトウダラ漁業からイカ釣り漁業への転換を進めています。

(1) 日本海漁業振興緊急対策事業

(単位:千円)

年度	町名	事業実施主体	対象魚種	事業内容・規模	事業費 (補助額)
		ホタテ(4年貝)養殖部会	ホタテガイ	4年貝養殖(養殖施設1基、ホタ テ洗浄機1台)	3,996 (1,998)
		中歌地区増養殖部会	キタムラサキウニ マナマコ	漁港静穏域でのウニ、マナマコ 養殖(ナマコ種苗20千個、石詰め 礁、餌料用コンブ養殖施設1基)	975
	せたな町	ひやま漁協青年部瀬棚支部	ホヤ	垂下式養殖(ホヤ種苗糸300 m、 養殖施設1基)	353 (177)
		ひやま漁協青年部貝取澗支部	マナマコ	閉鎖水域内におけるマナマコ養殖(ナマコ種苗8千個、袋詰め礁、U型トラフ)	330 (165)
		ひやま漁協青年部貝取澗支部	アワビ	大型アワビブランド化(先進地視察1回)	424 (212)
	八雲町	熊石ホッケ養殖部会	ホッケ	生け簀養殖(生け簀2基)	4,979 (2,489)
	江差町	江差ナマコ養殖研究会	マナマコ	生け簀養殖(ナマコ種苗20千個)	2,160
		養殖グループNo.1	ホヤ・カキ	垂下式養殖(ホヤ種苗糸 100 m)	220
		養殖グル―プNo.3	ホヤ・カキ	垂下式養殖(ホヤ種苗糸50 m、 ホヤ・カキ養殖施設3基)	2,248
H27	上ノ国町	上ノ国小砂子担い手養殖部会	アワビ	篭養殖(アワビ種苗10千個、養 殖施設1基)	3,870
		ひやま漁協上ノ国支所	アサリ	垂下式養殖(養殖施設1基)	1,307
		ひやま漁協上ノ国支所	ホタテガイ	篭養殖(養殖施設1基)	2,031
		奥尻潜水部会	ホタテガイ	篭養殖(ホタテ種苗2千個、養殖 施設20基)	228
		奥尻あわび養殖部会	アワビ	生け簀養殖(アワビ種苗16千個、生け簀6基)	10,423
	奥尻町	青苗養殖部会	キタムラサキウニ	粗放的養殖(ウニ種苗14千個、 餌料用コンブ養殖施設3基)	1,068
		奥尻潜水部会	キタムラサキウニ	粗放的養殖(ウニ種苗28千個、 餌料用コンブ養殖施設3基、先進 地視察1回)	1,331
		ウニカゴ養殖グループ	キタムラサキウニ	地税祭 回) 篭養殖(ウニ種苗2千個、養殖施 設6基、餌料用コンブ養殖施設1 基)	311
	合計	17事業実施主体(のべ)	8魚種		36,255 (17,981)

(単位:千円)

年度	町名	事業実施主体	対象魚種	事業内容・規模	事業費 (補助額)
					1,188
		ホタテ(2年貝)養殖部会	ホタテガイ	2年貝養殖(ホタテ洗浄機1台)	(594)
			キタムラサキウニ	漁港静穏域でのウニ、マナマコ	1,005
		中歌地区増養殖部会	マナマコ	養殖(ナマコ種苗20千個、石詰 礁)	(503)
		1. 从土海热东郊中取湖土郊	アワビ	エゾアワビブランド化試験(エゾア	1,760
	せたな町	ひやま漁協青年部貝取澗支部	7.72	ワビ種苗10千個、PRポスター等 作成費(商標権使用))	(880)
	E /_/&#J</td><td>白岩地区コンブ養殖部会</td><td>ホソメコンブ</td><td>コンブ養殖及び加工出荷試験 (養殖施設4基、コンブ種苗糸</td><td>837</td></tr><tr><td></td><td></td><td>THE TENED</td><td>マコンブ</td><td>200 m)</td><td>(418)</td></tr><tr><td></td><td></td><td>太櫓根付部会</td><td>キタムラサキウニ</td><td>ウニ篭養殖による早出し出荷試験(ウニ篭20基)</td><td>972</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td> 歌(ソー竜20基) ウニ篭養殖による早出し出荷試</td><td>(486)</td></tr><tr><td></td><td></td><td>ひやま漁協青年部貝取澗支部</td><td>キタムラサキウニ</td><td>験(ウニ篭10基、餌料用コンブ施</td><td>815</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td>設2基、先進地調査1回) 船揚場内におけるウニ養殖(ウニ</td><td>1,303</td></tr><tr><td></td><td>八雲町</td><td>熊石ウニ養殖部会</td><td>キタムラサキウニ</td><td>種苗13千個、U字トラフ50基、ウ</td><td>(651)</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td>ニフェンス)</td><td>3,240</td></tr><tr><td></td><td>\ \ _</td><td>江差ナマコ養殖研究会</td><td>マナマコ</td><td> 生け簀養殖(ナマコ種苗30千個)</td><td>(1,620)</td></tr><tr><td></td><td>江差町</td><td>江关江<i>以群</i>在旺丰如人</td><td>ブリ</td><td>船上活〆・神経抜きによるブリの</td><td>664</td></tr><tr><td></td><td></td><td>江差活〆鮮魚販売部会</td><td>70</td><td>ブランド化(船上活 〆タグ・漁獲 証明書製作費)</td><td>(332)</td></tr><tr><td></td><td></td><td>養殖グループNo.1</td><td>ホヤ・カキ</td><td>垂下式養殖</td><td>_</td></tr><tr><td></td><td></td><td>2/2//</td><td>1111 221</td><td>11747</td><td>(-)</td></tr><tr><td></td><td></td><td>養殖グループNo.3</td><td>ホヤ・カキ</td><td>垂下式養殖</td><td>-</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>(-)</td></tr><tr><td>H28</td><td></td><td>上ノ国小砂子担い手養殖部会</td><td>アワビ</td><td>篭養殖(アワビ種苗5千個)</td><td>1,218 (599)</td></tr><tr><td></td><td>上ノ国町</td><td></td><td></td><td></td><td>2,573</td></tr><tr><td></td><td></td><td>ひやま漁協上ノ国支所</td><td colspan=2>トやま漁協上ノ国支所 アサリ 垂下式養殖(養殖施設1基)</td><td>(1,191)</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td>1.6-15.4</td><td>篭養殖(ホタテ種苗30千個、養</td><td>5,647</td></tr><tr><td></td><td></td><td>ひやま漁協上ノ国支所</td><td>ホタテガイ</td><td>殖施設3基、ホタテクリーナー1 台)</td><td>(2,614)</td></tr><tr><td></td><td></td><td>ひやま漁協上ノ国支所</td><td>バカガイ</td><td>垂下式増養殖(バカガイ垂下式</td><td>539</td></tr><tr><td></td><td></td><td>のでなぶ伽工/国文//</td><td>7 (335)-1</td><td>増養殖施設1基)</td><td>(249)</td></tr><tr><td></td><td></td><td>奥尻潜水部会</td><td>ホタテガイ</td><td>篭養殖(ホタテ種苗6千個、養殖</td><td>942</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td>施設一式)</td><td>(471)</td></tr><tr><td></td><td></td><td>奥尻あわび養殖部会</td><td>アワビ</td><td>生け簀養殖(アワビ種苗16千個)</td><td>4,768</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td>WD サム 美 柱 / 上 ー 廷 サ o o T / ID</td><td>(2,384)</td></tr><tr><td></td><td></td><td>青苗養殖部会</td><td>キタムラサキウニ</td><td>粗放的養殖(ウニ種苗20千個、 餌料用コンブ養殖施設1基)</td><td>(376)</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td>出放的養殖(ウニ種苗20千個、</td><td>618</td></tr><tr><td></td><td>奥尻町</td><td> 奥尻潜水部会 </td><td>キタムラサキウニ</td><td>餌料用コンブ養殖施設1基)</td><td>(309)</td></tr><tr><td></td><td></td><td>家 足 洛 类 廿 学 却 今</td><td>キカノニサナウー</td><td>粗放的養殖(ウニ種苗20千個、</td><td>500</td></tr><tr><td></td><td></td><td>奥尻漁業共栄部会</td><td>キタムラサキウニ</td><td>餌料用コンブ養殖施設1基)</td><td>(250)</td></tr><tr><td></td><td></td><td>ウニカゴ養殖グループ</td><td>キタムラサキウニ</td><td>篭養殖(ウニ種苗25千個、養殖施設27基、餌料用コンブ養殖施</td><td>1,843</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td> </td><td>記27年、四州州コンフモルに設1基)</td><td>(921)</td></tr><tr><td></td><td></td><td>南部なまこ部会</td><td>マナマコ</td><td>マナマコ養殖(ウニフェンス、ナマコ種苗、先進地調査1回)</td><td>948</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td><u> </u></td><td>□性田、兀奘把調宜「凹/</td><td>(474)</td></tr><tr><td></td><td>合 計</td><td>22事業実施主体(のべ)</td><td>11魚種</td><td></td><td>32,133</td></tr><tr><td></td><td></td><td>1</td><td>]</td><td></td><td>(15,730)</td></tr></tbody></table>				

(単位:千円)

年度	町名	事業実施主体	対象魚種	事業内容・規模	事業費 (補助額)
		ホタテ(2年貝)養殖部会	ホタテガイ	2年貝養殖(ホタテ種苗220千個)	1,426 (713)
		白岩地区養殖部会	エゾバフンウニ	稚ウニからの養殖試験 (ウニ人工種苗2千個、ウニ天然 種苗17kg、養殖かご9基)	539 (269)
	せたな町	あわび増養殖部会	アワビ	エゾアワビ低密度養殖試験 (アワビ種苗10千個、餌料費一式)	2,125 (1,063)
		エゾバカ貝部会	エゾバカガイ	エゾバカガイ垂下養殖 (養殖かご250籠、養殖資材一式)	920
	八雲町	熊石ウニ養殖部会	キタムラサキウニ	静穏域におけるウニ給餌養殖(ウニ種苗30千個、ウニフェンスー式、餌料費一式)	1,784
		江差町	エゾキンチャクガイ	養殖技術確立に向けた基礎調査 (試験調査一式)	300
	江差町	江差磯廻り団体	ワカメ、コンブ、ホヤ	低利用資源の利用拡大(ワカメ・コンブ・ホヤ養殖施設一式)	516
		江差活〆鮮魚販売部会	ブリ、マダラ サクラマス	船上活〆・神経抜きによるブラン ド化(製品ラベル・包材一式)	1,000
		養殖グループNo.1	ホヤ・カキ	垂下式養殖	- (-)
		養殖グループNo.3	ホヤ・カキ	垂下式養殖	- (-)
H29	上ノ国町	上ノ国小砂子担い手養殖部会	アワビ	篭養殖(アワビ種苗8千個、餌料 費一式)	1,774 (886)
		ひやま漁協上ノ国支所	ホタテガイ	篭養殖(ホタテ種苗30千個、養 殖施設一式)	4,097 (1,896)
		奥尻潜水部会	ホタテガイ	篭養殖(ホタテ種苗10千個、養 殖資材一式、試験調査1回)	1,136 (532)
		奥尻あわび養殖部会	アワビ	餌料改良試験(アワビ種苗8千個、餌料費一式)	1,906 (882)
		成養部会	ホタテガイ エゾバカガイ	養殖試験(ホタテガイ種苗2千個、エゾバカガイ種苗400個、養殖資材一式、試験調査1回)	840 (390)
		青苗養殖部会	キタムラサキウニ	餌料改良試験(ウニ種苗24千個、資材一式、コンブ種苗糸450m)	472 (218)
	奥尻町	奥尻潜水部会	キタムラサキウニ	餌料改良試験(ウニ種苗12千個、資材一式、コンブ種苗糸420m)	513 (238)
		奥尻漁業共栄部会	キタムラサキウニ	餌料改良試験(ウニ種苗24千個、コンブ種苗糸300m)	432 (200)
		ウニカゴ養殖グループ	キタムラサキウニ	餌料改良試験(ウニ種苗38千個、養殖資材1式)	1,542
		南部なまこ部会	マナマコ	簡易採苗増殖及び養殖(種苗生 産経費、試験調査1回)	599 (280)
	合 計	20事業実施主体(のべ)	13魚種		21,921 (10,533)

(2)日本海漁業振興対策事業

(単位·千円)

					<u> </u>
年度	町名	事業実施主体	対象魚種	事業内容•規模	事業費 (補助額)
Н30	せたな町 乙部町	ひやま漁業協同組合	ホタテガイ サケ	【大成地区】 ほたてがい養殖施設 6基 他 さけ定置網 1ヶ統 【乙部地区】 ほたてがい養殖施設 2基 他	47,629 (22,049)
	合 計	1事業実施主体(のべ)	2		47,629 (22,049)

年度	町名	事業実施主体	対象魚種	事業内容・規模	事業費 (補助額)
R1	上ノ国町	ひやま漁業協同組合	アワビ ウニ コンブ	アワビ養殖施設 浮体式生け簣 6基 餌コンブ養殖施設 桁式垂下施設 3基 蓄養施設機器	39,798 (18,425)
	合 計	1事業実施主体(のべ)	3		39,798 (18,425)

年度	町名	事業実施主体	対象魚種	事業内容・規模	事業費 (補助額)
R2	上ノ国町	ひやま漁業協同組合	アワビ ウニ	アワビ養殖施設 浮体式生け簀 12基	63,228 (26,464)
	合 計	1事業実施主体(のべ)	2		63,228 (26,464)

[※] 事業費及び補助額については、表示単位未満の端数を四捨五入しているため、内訳の計と合計欄の数値は必ず しも一致しない。

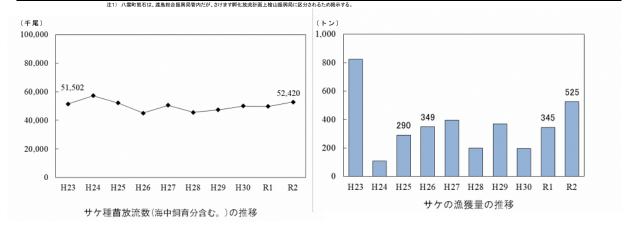
2 栽培漁業の推進に資する種苗放流事業

栽培漁業の推進により、水産資源の維持・増大を図るため、サケ・マスのふ化放 流事業やニシン、ヒラメなどの種苗放流事業を実施しています。

(1) サケ

道による「さけ・ます人工ふ化放流計画」に基づき、道総研さけます・内水面 水産試験場と連携の上、日本海さけ・ます増殖事業協会のふ化場施設において、 採卵・飼育されたサケ稚魚の放流を行っています。

(単位:捕獲数(尾)/採卵数(千粒)/放流数(千尾)) サケ親魚捕獲採卵及び稚魚放流数 年 度 町 名 河川名 H23 H24 H25 H26 H27 H28 H29 H30 R1 R2 捕獲数 嗣内川 採卵数 放流数 799 799 798 499 捕獲数 瀬棚区 馬場 採卵数 1,995 1,997 898 放流数 15,572 19,321 15,526 13,053 10,367 30,111 後志利別川 採卵数 27,164 20,742 20,520 18,232 8,117 13,470 11,337 18,581 12,653 12,244 せたな町 捕獲数 北檜山区 良瑠石川 採卵数 1,397 1,398 1,396 498 1,000 放流数 393 532 宮野小川 採卵数 271 137 1,992 2,007 1,997 2,001 1,904 1,500 放流数 大成区 捕獲数 1,997 1,912 2,004 1,518 1,498 1,637 1,500 放流数 2,005 1,934 1,398 捕獲数 4.805 5.681 6,063 16,091 5,787 8,734 8,289 八雲町熊石 相沼内丿 採卵数 4,533 6,295 6,542 4,988 2,014 3,796 10,871 3,663 4,608 3,103 7,864 6,549 8,000 放流数 8,179 7,879 3,059 捕獲数 143 突 符 1,429 採卵数 放流数 1.000 乙部町 捕獲数 418 採卵数 140 1.017 1.000 放流数 1.010 1.796 1.333 1.010 950 2.161 捕獲数 6.449 1.511 107 9.642 2.713 4.565 376 194 厚沢部町 厚沢部丿 採卵数 10,013 2,990 5,299 4,824 1,358 1,696 323 57 154 191 放流数 8.241 9.110 8.560 7.916 7.993 8.695 8.791 8.575 8.643 8.500 捕獲数 6.073 3.856 4.518 5.495 3.130 2.270 1.255 1.270 4.745 5.258 天 野 」 採卵数 5.109 3.989 4.421 3.973 2,182 1.379 392 852 1.403 1.988 放流数 8.832 10.773 8.413 10.173 9.730 7.909 6.063 7.967 8.028 7.900 上ノ国町 捕獲数 石 崎 採卵数 放流数 1.000 1.733 1.400 1.002 968 1.101 1.000 1.000 描獲数 60 805 26 946 34 839 35 759 23 375 14 666 19 380 29 029 41 830 48 306 승 計 採卵数 45,389 32,254 36,535 32,948 26,760 22,977 17,981 23,254 32,561 27,208 放流数 47.202 52.442 47.512 42.628 44.264 39.420 38.133 41.006 40.853 43.400 海中飼育分 4 300 4 8 1 5 4714 6.321 9 500



(資料:(公社) 北海道さけ・ます増殖事業協会「さけ・ます増殖事業成績書」、北海道水産現勢)

(2) サクラマス

サケ同様に、「さけ・ます人工ふ化放流計画」に基づき、道総研さけます・内水面水産試験場と連携の上、道総研さけます・内水面水産試験場及びひやま漁協のふ化場施設において、採卵・飼育されたサクラマス稚魚及び幼魚の放流を平成25年度まで行っていました。

なお、平成 26 年度以降は、魚病により放流を見合わせていましたが、平成 28 年度からスモルト放流、平成 30 年度から春稚魚放流が再開されています。

サクラマス稚魚及び幼魚放流数

ア 0 + 春稚魚放流(約2ヶ月の飼育で体重が1 g程になった稚魚の放流)

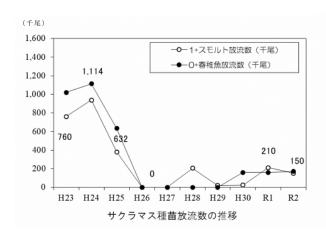
(畄	欱	エ	屋	١

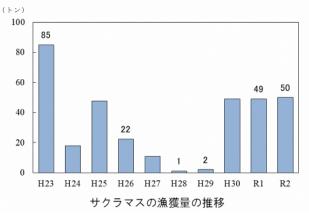
町	名	河	Л	名									
щј	4)H]	ויו	4	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H30	R1	R2
	瀬棚区	馬	場	Щ	80.0	120. 0	30.0	100.0	136.0	72. 0			
せたな町	北檜山区	太	櫓	Ш	120. 0	180. 0	50.0	140.0	160.0	90.0	60.0	50.0	50.0
E / E / A M J	大成区	小川	(宮	『野)									
	人从区	臼	別	Ш	120.0	30.0	30.0	100.0	139.0	72. 0			
八雲町	h 能 工	見	市	Ξ	50.0	80.0	10.0	50.0	50.0	20.0			
八云中	1) 198 12	相	7 I	为 川	90.0	120. 0	40. 0	120. 0	150.0	86.0			
Z ŧ	部 町	突	符	Щ	90.0	120. 0	40.0	110.0	20.0	20. 0	20.0	20.0	30.0
ے د	ib m]	姫		Ш		120. 0	40.0	100.0	126.0	72. 0			
上丿	国町	天	野	Ш	120. 0	200. 0	50.0	140.0	157. 0	100.0	50.0	60.0	60.0
	国町	石	崎	Щ	200. 0	200. 0	50.0	160.0	176.0	100.0	30.0	30.0	30.0
	合 計	t			870.0	1, 170. 0	340.0	1, 020. 0	1, 114. 0	632. 0	160.0	160.0	170.0

イ 1+スモルト放流(約1年2ヶ月の飼育で体重が30 g程になった幼魚の放流)

(単位:千尾)

町	名		可川	名									
Щ	4	7	HJ /II	4	H22	H23	H24	H25	H28	H29	H30	R1	R2
	瀬棚区	須	築	Щ			27. 0	5. 0					
	枫伽匠	馬	場	Ш	71.4	71.4	18. 0	5. 0					
せたな町	北檜山区	良	瑠 石	Ш			10.0	5. 0					
	礼信田区	太	櫓	Ш	50.0	50.0	22. 0	5. 0					
	大 成 区		別	Ш	71.4	71.4	45. 0	10.0					
八雲田	h 能 石	見	市	Ш	210.0	210.0	388. 4	104. 3	204. 4	18.9	22. 3	210. 2	150.0
八去中	וי את ני	相	沼 内	Ш	71.4	71.4	45. 0	10.0					
乙曾	部 町	突	符	Ξ	71.6	71.6	210.0	205. 0					
厚 沢	部町	厚	沢 部	Ш	71.4	71.4	70.0	10.0					
上ノ	国町	石	崎	Ξ	71.4	71.4	45. 0	10.0					
奥原	見 町	青	苗	Ш	71.4	71.4	58.0	10.0					
	合 討				760.0	760.0	938. 4	379.3	204. 4	18. 9	22. 3	210. 2	150.0





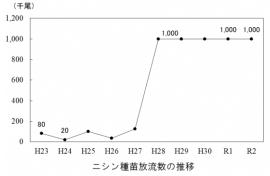
(資料:(公社) 北海道さけ・ます増殖事業協会「さけ・ます増殖事業成績書」、ひやま漁協)

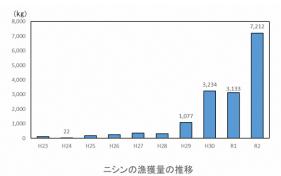
(3) ニシン

檜山ニシン資源の復興を目指すため、平成21年度に旧檜山支庁が独自事業とし て初めて、(公社) 北海道栽培漁業振興公社羽幌事業所で生産されたニシン種苗の 放流を行った後、平成23年度以降は檜山管内各町及び八雲町並びにひやま漁業協 同組合で構成される「檜山管内水産振興対策協議会(旧ひやま地域ニシン復興対 策協議会)」が実施主体として、ニシン種苗を放流しています。

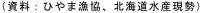
ニシン種苗	抗流数の 打	推移								(単位	::千尾)	
放流箇所名	年度	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	
	瀬棚区	10	_	_	_	4	125	60	55	55	55	
せたな町	北檜山区	10	_	_	_	4	125	55	55	55	55	
	大成区	10	-	-	-	4	125	55	55	55	55	
八雲	町熊石	10	-	-	-	4	125	166	166	170	166	
	部 町	10	-	-	-	4	125	166	170	166	166	
江	差 町	10	10	-	-	4	125	166	166	166	166	
上ノ	国 町	10	10	100	36	100	125	166	166	166	170	
奥	式 町	10	-	-	-	4	125	166	166	166	166	
合	計	80	20	100	36	125	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	
生産機	関(※)	栽培公社羽幌事業所	上ノ国町制	T栽培漁業総合センター 栽培公社瀬棚事業所								
親	魚	日本海北部産ニシン		地場産ニシン								

- ※ 栽培公社は、「(公社)北海道栽培漁業振興公社」の略称を示す。
- 注)千尾未満の端数を四捨五入したため、合計欄の数値と内訳の計は必ずしも一致しない。

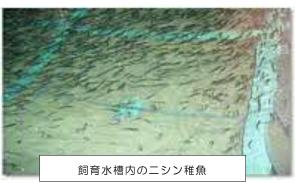












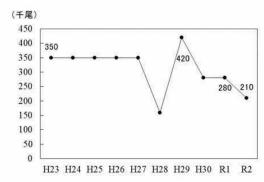


ヒラメ資源の維持・増大を図るため、平成8年度から(公社)北海道栽培漁業振興公社瀬棚事業所で生産されたヒラメ種苗を放流しています

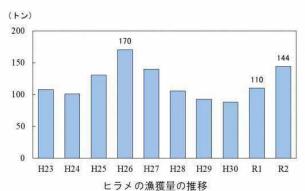
ヒラメ種苗放流数の推移 (単位:千尾)

<u>「上ノン作田以川致の作物」 (単位・十尾)</u>											
放流箇所名	年度	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2
	瀬棚区	1	79	ı	79	1	34	24	63	-	47
せたな町	北檜山区	-	54	-	54	-	26	11	43	_	32
	大成区	_	130	-	130	-	60	50	104	18	78
八雲田	订熊石	-	88	_	88	-	39	36	70	18	53
乙曾	邻町	88	-	88	-	88	-	75	1	88	1
江差	善 町	88	-	88	-	88	-	75	1	70	1
上ノ	国 町	88	-	88	-	88	-	75	1	88	-
奥	え 町	88	-	88	_	88	-	75	-	_	-
合	計	350	350	350	350	350	159	420	280	280	210

注)千尾未満の端数を四捨五入したため、合計欄の数値と内訳の計は必ずしも一致しない。



ヒラメ種苗放流数の推移



(資料:ひやま漁協、北海道水産現勢)

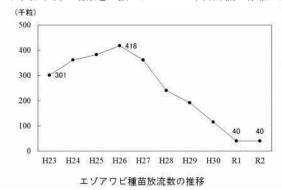
(5) エゾアワビ

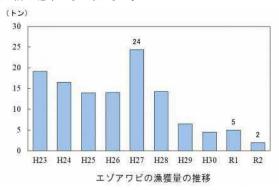
エゾアワビ資源の維持・増大を図るため、(公社) 北海道栽培漁業振興公社熊石事業所で生産されたエゾアワビ種苗(全長 20~30 mm) を直接、または管内施設で40~50 mm まで中間育成した後、放流しています。

エゾアワビ種苗放流数の推移 (単位:千粒)

放流箇所名	年度	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	直近の平均 放流サイズ
	瀬棚区	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	_
せたな町	北檜山区	_	-	-	-	-	-	-	-	-	-	_
	大成区	50	48	49	50	45	ı	_	-	_	-	_
八雲甲	町熊石	80	100	100	83	40	ı	15	-	-	-	_
乙音	部 町	0	_	-	_	-	ı	_	-	_	-	_
江	差 町	20	20	30	75	75	75	75	75	-	-	_
上ノ	国 町	60	34	38	33	40	75	51	-	-	_	_
奥	え 町	91	159	166	178	162	90	50	40	40	40	40 mm
合	計	301	361	383	418	362	240	191	115	40	40	_

注) 千粒未満の端数を四捨五入したため、合計欄の数値と内訳の計は必ずしも一致しない。





(資料:檜山振興局調べ、北海道水産現勢)

(6) エゾバフンウニ

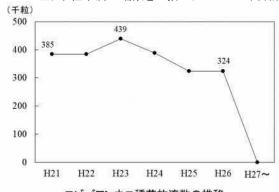
エゾバフンウニ資源の維持・増大を図るため、主に上磯郡広域ウニ種苗生産施設で生産されたエゾバフンウニ種苗(全長 $5\sim15~\rm mm$)を平成 $26~\rm F$ 度まで放流していました。

なお、平成27年度以降は、高水温等の影響により放流していません。

エゾバフンウニ種苗放流数の推移 (単位:千粒)

<u> </u>	ノ一性田ルル						\-	<u>FIY. I 744/</u>
放流箇所名	年度	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27 ∼
	瀬棚区	160	160	252	201	177	104	-
せたな町	北檜山区	150	150	52	52	44	100	_
	大成区	_	-	60	60	103	120	-
八雲町熊石		_	-	-	-	-	-	-
乙部町		_	-	_	_	_	-	-
江差	善 町	75	75	75	75	_	ı	-
上ノ国 町		_			_	_	ı	-
奥 尻 町		-	_	_	_	_	-	_
合	計	385	385	439	388	324	324	0

注) 千粒未満の端数を四捨五入したため、合計欄の数値と内訳の計は必ずしも一致しない。



15.0 14.0 13.0 12.0 11.0 10.0 9.0 8.0 7.0 6.0 5.0 4.0 3.0 2.0 H23 H24 H25 H26 H27 H28 H29 H30 R1 R2

エゾバフンウニ種苗放流数の推移

エゾバフンウニの漁獲量の推移 (資料:檜山振興局調べ、北海道水産現勢)

(7) マナマコ

奥 尻 町

マナマコ資源の維持・増大を図るため、(公社) 北海道栽培漁業振興公社熊石事業所及び沿海各町施設等で生産されたマナマコ種苗を放流しています。

マナマコ種苗放流数の推移 (単位:千尾)											
放流箇所名	年度	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2
	瀬棚区	58	87	100	197	170	130	226	250	56	56
せたな町	大成区(久遠)	58	87	100	185	277	107	53	204	56	56
	大成区(貝取澗)	58	87	100	145	118	85	166	250	56	56
八雲甲	町熊石	52	87	100	175	227	84	340	0	167	167
乙音	部 町	448	287	400	322	291	182	445	599	217	167
江	差 町	183	118	250	222	266	193	253	206	167	167
L /	甲	0.5	07	100	575	575	0.5	167	0	167	167

235

2,056

272

2,194

160

1,037

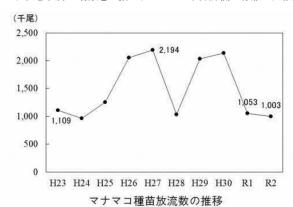
注)千尾未満の端数を四捨五入したため、合計欄の数値と内訳の計は必ずしも一致しない。

100

1,254

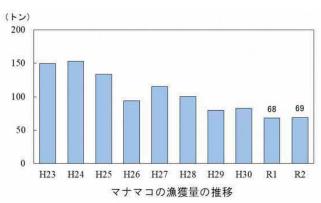
127

965



158

1,109



383

2,033

632

2,141

167

1,053

167

1,003

(資料:ひやま漁協、北海道水産現勢)